

令和 7 年度 広域農業基盤整備管理調査
湖東平野地区青木分水工水位観測機器設置業務

特 別 仕 様 書

近畿農政局淀川水系土地改良調査管理事務所

項目	内容	備考
第1章 総則	<p>令和7年度 広域農業基盤整備管理調査 湖東平野地区青木分水工水位観測機器設置業務の実施に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。</p> <p>同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。</p>	
第2章 業務内容		
1. 目的	本業務は、湖東平野地区において青木分水工掛かりの末端水路の水位を観測することを目的として水位観測機器の設置を行うものである。	
2. 業務場所	本業務の対象設備設置場所は滋賀県東近江市で別添位置図のとおりである。	
3. 業務概要	<p>本業務は、湖東平野地区の末端水路に水位計及び通信機の設置を行うもので、対象機器は次のとおりである。</p> <p>1) 水位計：9台 2) 通信機：1台</p>	
4. 業務数量	別紙1「業務数量表」のとおりである。	
5. 施工範囲	本本業務の施工範囲は、上記3.業務概要に示す機器の設置及び接続調整に必要な範囲とする。	
第3章 施工条件		
1. 業務期間中の休業日	業務期間中の休業日は、休日等4週8休を見込んでいる。	
2. 作業時間の制限	本業務の作業時間は8時30分～17時15分までを基本とする。	
第4章 現場条件		
1. 関係機関との調整	本業務の対象施設の一部は農地に隣接していることから、耕作又は通行等に支障を与えないように実施するものとする。	
第5章 提出図書等		
1. 提出図書	<p>共通仕様書第1章1-1-5に示す施工計画書については、本業務は簡易な業務のため、記載内容を省略した内容で監督職員が指定する日までに作成し、提出するものとする。</p> <p>なお、共通仕様書第1章1-1-6に示す承諾図書については、更新する雨量計のカタログ、試験成績書、検定証明書等を監督職員が指定する日までに作成し、提出するものとする。</p> <p>また、共通仕様書第1章1-1-26に示す完成図書及び施工図については、監督職員と打合せの上、作成するものとする。</p>	
第6章 仮設		
1. 工事用電力	本業務に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。	

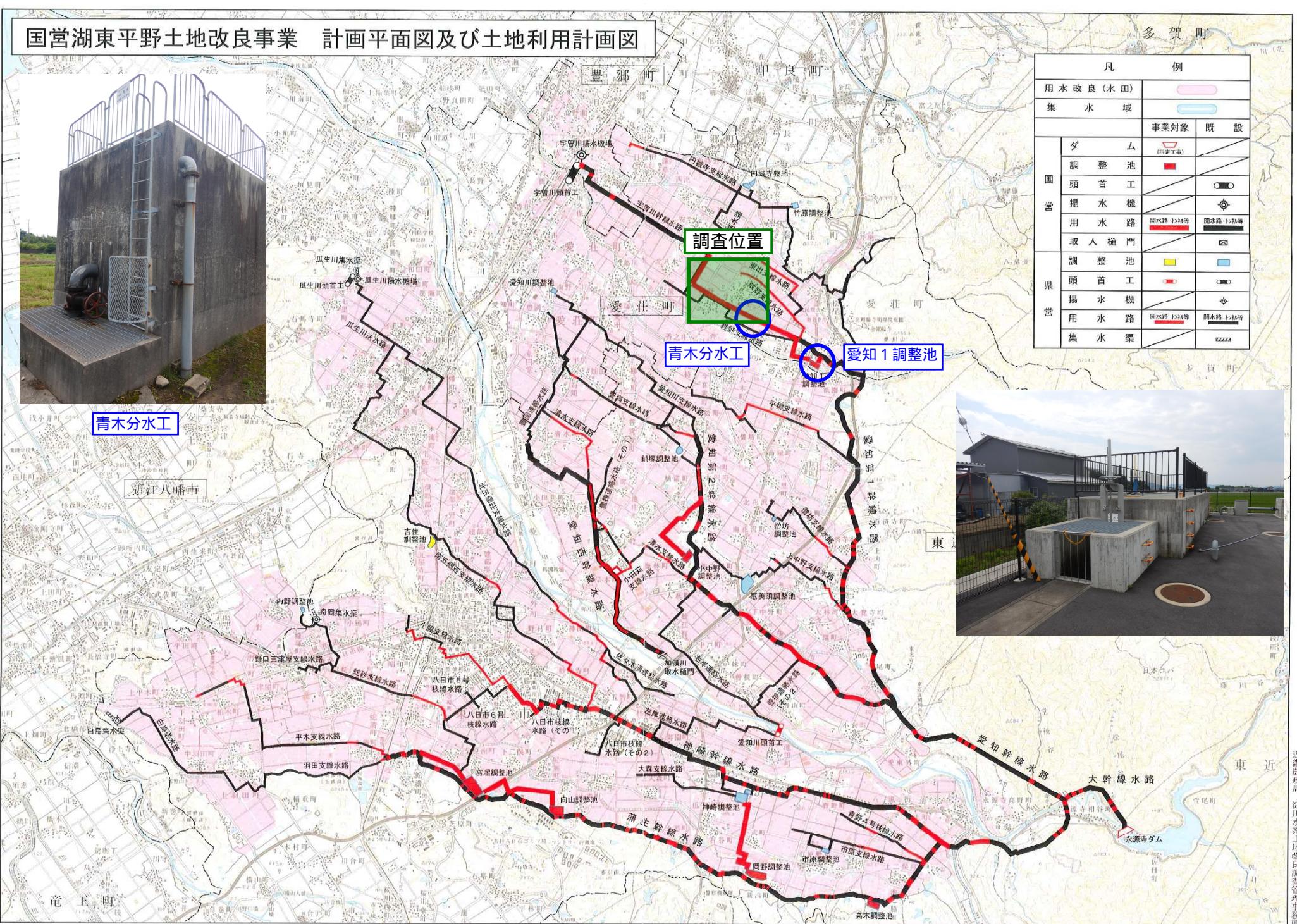
項目	内 容	備考
第 7 章 試運転調整 1 . 試運転調整	本業務の試運転調整に要する電力料金（基本料金・使用料金）及び通信回線使用料金は発注者において負担する。	
第 8 章 水位計設置 1 . 一般事項	水位計の設置方法については、設置箇所の水路上に水路高より 20cm 程度高い位置になるように設置するものとする。水位計は、水路敷に単管を設置して固定又は桟の側壁等に削孔しアンカーにより固定するものとする。 設置に必要となる単管パイプ、クランプ等の部材は受注者にて用意するものとする	
第 9 章 通信機設置 1 . 一般事項	通信機の設置方法については、設置箇所に位置している既存施設の手すりパイプに固定するものとする。	
第 10 章 試験及び検査 1 . 検測又は確認	機器の動作確認は自主検査によるものとする。	
第 11 章 条件変更の 補足説明	本業務の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書と異なる場合、あるいは設計図書にしめされていない場合の施工条件の変更に該当する主要な事項は、次のとおりである。 (1) 施工条件等の条件変更に係るもの (2) 不可抗力によるもの (3) その他、本仕様書に定めのないもの	
第 12 章 その他 1 . 電子納品等	本工事の完成図書については、共通仕様書第 1 章 1 - 1 - 26 及び第 1 章 1 - 1 - 28 に示す電子納品要領（案）の適用は対象外とする。	
第 13 章 定めなき事項	(1) 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。 (2) この仕様書に定めない事項又はこの業務の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。	

別紙 - 1 【数量表】

工種・種目・細別	規 格	単位	数量	備 考
1 . 水位計の設置	検出方式：超音波式 測定範囲：水深0.2～5m 最小読取単位： $\pm 1\text{ cm}$ 測定精度： $\pm 1.0\%FS$ 以内 使用環境：-10 ~ +40 度 電源装置：太陽光発電（蓄電池からの電源供給による） 測定間隔：5分以内	台	9	単管による設置 8台 アンカーによる固定 1台 (設置図参照)
2 . 通信機の設置	接続装置：水位計 通信規格：水位計 - 通信機 LPWA 通信機 - インターネット LTE 使用環境：-10 ~ +40 度 電源装置：太陽光発電（蓄電池からの電源供給による） 収納箱保護等級：IP55以上	台	1	既設施設手すりパイプへの固定

国営湖東平野土地改良事業 計画平面図及び土地利用計画図

凡 例	
用 水 改 良 (水 田)	
集 水 域	
事 業 対 象 既 設	
ダ ム	
調 整 池	
頭 首 工	
揚 水 機	
用 水 路	
取 入 捅 門	
調 整 池	
頭 首 工	
揚 水 機	
用 水 路	
集 水 渠	



水位計設置数

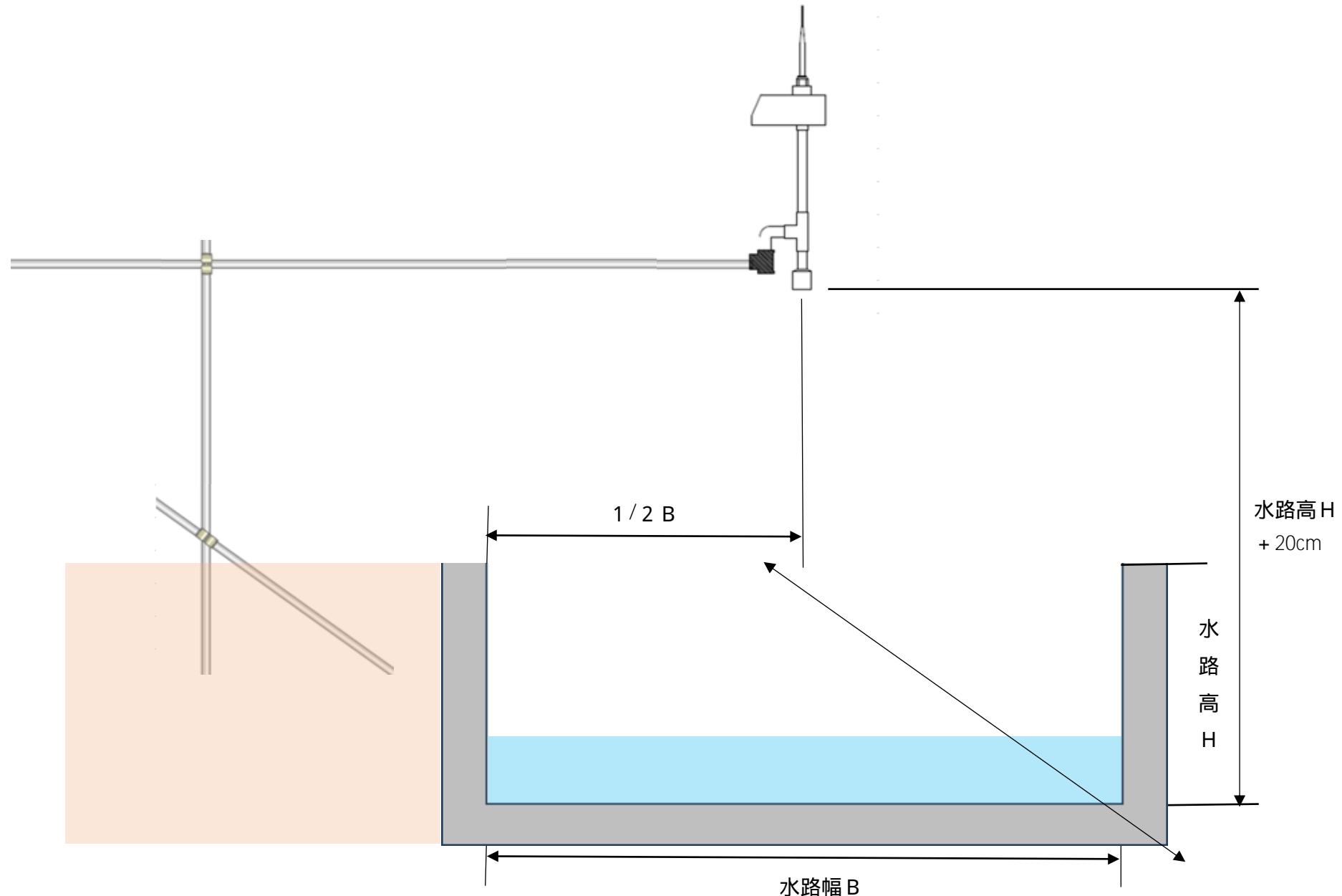
- : 流入 3 基
- : 流出 6 基



アクアモニター設置図

【土中埋込型】

- ・設置位置は、水路の中央部（ $1/2 B$ ）、水路底から $H + 20\text{ cm}$ とすること。
- ・単管パイプの埋込は、倒伏しないよう十分な長さを確保すること。



アクアモニター設置図

【桿設置型】

- ・設置位置は、水路の中央部（ $1/2 B$ ）、水路底から $H + 20\text{cm}$ とすること。
- ・桿の取付は、アンカーで固定し倒伏しないよう十分な強度を有すること。

